

心理学コースの授業紹介！

心理・文化学科では、**公認心理師を養成するためのカリキュラム**を開講しており、基礎から応用まで、幅広い内容の授業が行われています。

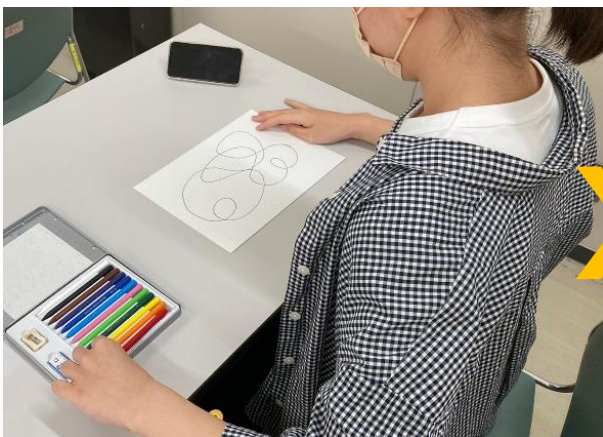
その中でも、公認心理師が拠り所とする中心的な学問が「**臨床心理学**」です。人は誰も少なからず悩みを抱えながら生きていきますが、そういった「**心に関する障害や困難を抱えた人を支援するにはどうしたらいいのか？**」を研究するのが臨床心理学です。

臨床心理学の授業では、学生自らが**心理療法や心理検査などを体験**する機会が多くあります。公認心理師を目指す学生はもちろん、臨床心理学を通して自己理解が深まるという意味では、公認心理師以外の進路を目指す学生にとっても有意義な内容と言えます。

今回は、臨床心理学の体験学習の様子をいくつかご紹介しましょう♪

【なぐり描き法】

画用紙に書いたなぐり描きの線が何に見えるか考え、見えたものを絵にするという「**芸術療法**」の一つです。



「何に見えるかな・・・？」
みんなで検査を試みよう！



「人の顔が浮かんできた！！」
「結構難しい・・・。」

【箱庭療法】

砂の入った箱の中にフィギュアを並べて自分の心の内面を表現する心理療法の一つです。



「砂の感触が心地いい！」



「たくさんフィギュアがあって悩む…」



「一人一人の個性が出る！」



「完成！！」

「人の心を学ぶって難しそう…」と思われる方もいるかもしれませんが、百聞は一見に如かず！まずはやってみることも大切です。心理学コースでは、こうした体験的な学びを通して、知識と実践がつながる学びを日々行っています。